



発見!
名島神社正面の海岸に露出する珪化木で、カン属の樹木が化石となったもの。9個の円柱状の岩がほぼ一直線に並んでいる。満潮時には水没してしまうので要注意。

●名島の櫓石(帆柱石)
福岡市東区名島1
☎092-711-4666
【福岡市文化財保護課】
(名島駅より徒歩16分)



博多港の開港100周年を記念して造られた公園。博多湾を望む緩やかな丘には、巻貝をモチーフにしたオブジェが点在。広い芝生でピクニックをするなど思い思いに過ごすことができる。

●みなと100年公園
福岡市東区香椎浜ふ頭1
☎092-282-7115
【福岡市港湾局維持課】
(名島駅より徒歩19分)



昭和8年に完成した名島橋は、全長204.1m、橋幅24mもあり、当時の橋としては破格の大きさ。白く輝く御影石で覆われた7連アーチの堂々とした優美な姿が特徴で、福岡市の都市景観賞を受賞したこともある。

●名島橋
福岡市東区名島2
(名島駅より徒歩6分)



創業80年。有明海産の海苔をはじめ、人気は本枯鰻節やいりこなどを使っただしパック(250円〜)。熟成もろみなどで旨味を出すため、無添加で澄んだ味わい。毎月第3土曜は名島商店街が参加する大売出し「名島楽市」を開催。

●井口食品(名島屋)
福岡市東区名島2-34-25
☎092-681-3161
(名島駅より徒歩3分)



まるで喫茶店のマスターみたいに柔和な接客が印象的な城戸さん。実はオーケストラのホルン奏者から屋台を経て、店を開いたという異色の経歴を持つ。優しい味わいのラーメン(480円)や餃子(300円)を求め、毎日多くの人を訪れる。

●名島亭
福岡市東区名島2-41-7
☎092-662-3566 (名島駅より徒歩6分)



米の卸問屋からスタートした定食店。手間ひまをかけた料理が評判で、ヘルシーな米油を使うなど健康にも気を配る。20cm超の特大海老が2尾入りの大海老フライ定食(1,550円)は、ボリューム満点。すべての定食にはライトサイズも用意されている。

●キッチンミー(こめいち)
福岡市東区千早2-2-41
☎092-662-4423
(名島駅より徒歩6分)



名島城主だった小早川隆景は「三本の矢」で有名な毛利元就の三男。三方を海に囲まれた要害堅固な海城で、朝鮮出兵の拠点として豊臣秀吉も滞在したと云われる。現在は名島城址公園となり「臥龍桜」を觀賞できる桜の名所としても知られている。

●名島城跡
福岡市東区名島1
(名島駅より徒歩18分)

Vol.44

名島駅

なじまえき

貝塚駅から出発した西鉄貝塚線の駅前名物探しの旅。今回は多々良川を渡り、名島駅の周辺を探索します。「名島と聞いて思いつくのは、名島城跡に名島橋、そして噂に聞くあのラーメン屋さん、さらに駅前名物初の海岸散策もできそう...。初夏のお出かけ日和の中、名島散策はとても楽しみです。」

イラスト/田原ウーコ
文・写真/陣内研治

駅×モ 名島駅

【所在地】福岡市東区名島3丁目
【乗降者数】1,946人(平成23年度/1日平均)
【開業日】1924(大正13)年5月23日

名島駅周辺の情報はココでチェック!
タウンライターが沿線の情報をお届け!

西鉄沿線 検索

西鉄沿線 web
http://www.ensen24.jp/

名島神社の鳥居をくぐり、階段を登ると名島城跡です。名島城は、戦国時代に立花鑑載が築造したと云われ、その後、豊臣秀吉に命じられ筑前国主となった小早川隆景が入城。関ヶ原の戦い以後には黒田長政が入城し、福岡城が建設されるまでの数十年の間、城下町として栄えたそうです。当時は、博多の町人たちが、「博多どんたく」の起源とも云われる「松離子」を仕立て名島城に参上した記録もあり、賑やかかりし城の様子が想像できます。

名島には、大正、昭和にかけて、東洋一大発電所や、リンドバーグも降り立った水上飛行場があったとか。様々な時代で福岡の中心的な役割を果たしてきた名島は、悠久のロマンに思いを馳せたくなる...そんな素敵な街でした。

「毎日食べても飽きない味」を目指していますというラーメンは、上品な味わいの豚骨スープと細麺の相性が抜群です。さて、お腹も満たされたところで、海の方へと歩いて、名島城跡を目指します。海岸沿いを歩いてみると「帆柱石」という案内看板を見つけました。なんでも約3500年前の原木の化石で、国の天然記念物にも指定されているそうです。それはぜひ見てみたい!と辺りを探すと、波打ち際の崖の下に、丸太を切ったような形の石が並んでいるのを見つけました。確かに石をつなぐと一本の帆柱のようにも見えます。帆柱石は神功皇后が三韓出兵から帰還した際の帆柱とも言い伝えられ、背後にある山には、宗像三柱姫をお祀りした名島神社もあります。

「三本の矢」
長男 三男 小早川隆景

名島駅から到着します。電車を振り返ると、なんと駅舎は城門風(平成16年築)。これは名島城にあったという「名島門」を模したもので!かつての城下町を想像させる、粋な演出に名島散策の期待も高まります。

国道3号線を渡ると名島の商店街があり、お茶屋さんや花屋さんなど数十軒が並びます。まずは、名島ならではの噂のラーメン屋さん「名島亭」にやってきました。店に入ると湯気の向こうに店主・城戸修さんが一人でラーメンを作っています。大繁盛店ながらも、お客さんとの会話を楽しむ気さくな姿が印象的です。「毎日食べても飽きない味」を目指していますというラーメンは、上品な味わいの豚骨スープと細麺の相性が抜群です。

さて、お腹も満たされたところで、海の方へと歩いて、名島城跡を目指します。海岸沿いを歩いてみると「帆柱石」という案内看板を見つけました。なんでも約3500年前の原木の化石で、国の天然記念物にも指定されているそうです。それはぜひ見てみたい!と辺りを探すと、波打ち際の崖の下に、丸太を切ったような形の石が並んでいるのを見つけました。確かに石をつなぐと一本の帆柱のようにも見えます。帆柱石は神功皇后が三韓出兵から帰還した際の帆柱とも言い伝えられ、背後にある山には、宗像三柱姫をお祀りした名島神社もあります。

優美な名島橋を眺めながら多々良川を渡ると、電車は名島駅に到着します。電車を振り返ると、なんと駅舎は城門風(平成16年築)。これは名島城にあったという「名島門」を模したもので!かつての城下町を想像させる、粋な演出に名島散策の期待も高まります。